

きゅうしよくだより

令和5年(2023年)10月号
千里新田小学校 栄養教諭

10月は、「食品ロス削減月間」です。

※食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられる食品のことです。

世界では…

今、世界では、世界中のすべての人が十分に食べられるだけの食べ物は作られていると言われています。それにもかかわらず、世界で約8億人の人が、食べ物が足りずに毎日おなかをすかせながら、生活しているそうです。

10月16日は、「世界食料デー」

毎年、約25億トンの食べ物が捨てられています…



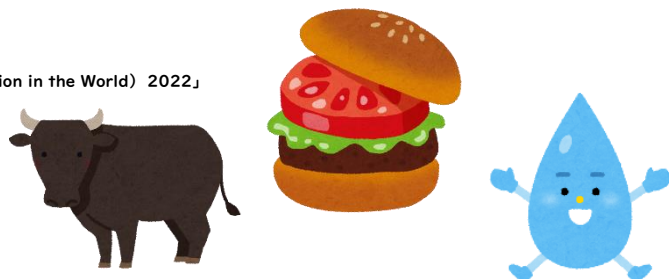
この25億トンは、世界で生産された食料の約1/3の量です。

資源も捨てられています…

世界で使われている水の約7割が農業に使われています。穀物や穀物を飼料として食べる牛などの生産には、たくさんの水が必要です。

たとえば、ハンバーガー(牛肉1)1個を作るために、約1700L(500mlのペットボトル約3400本分)の水が使われます。ハンバーガーが無駄になった場合、水も無駄になってしまうこととなります。命の源である水を大切にしたいですね…

※参考資料:「世界の食料安全と栄養の現状(The State of Food Security and Nutrition in the World) 2022」
:Driven to Waste Global Food Loss on Farms | WWF
:「国連環境計画(UNEP)2018」



新田小では…

昨年度の給食1年間で、

約2.7トンの食べ物が捨てられていました…

※アフリカゾウ1頭と同じくらいです。



*1学期に4年生でごみの処理(社会)に関連させて食べ残しについて学びました。

『どうして食べ残しはよくないのだろう』授業の感想より

- 食べ物が再利用できないから。
- 地球の限られた資源を無駄にしている。
- 米を育てるのに、たくさんの水がいる。
- これからは、きれいな物でもちようせんして、食べられる物を増やして、すてられる食べ物の量をへらそうと思った。
- 私たちが残した物で、こんなにもごみが出るんだと思った。
- 食べ物は、食べればえいよう、のこせばごみ、ということがわかった。
- 食べ残して地球が壊れるかもしれないということにびっくりした。
- 牛や豚の命をむだにしない。命の大切さを感じてのこさず食べることにいきをむける。
- 次、給食当番になったら、ごはんを4等分してから配分しようと思った。
- ちゃんとのこさずに食べたら地球を守れるかもしれない。
- ごはんをもっと大切にしようと思った。



食品ロスを減らすための工夫

- *あと一口だけでも食べる
- *必要なものだけ買う
- *賞味期限・消費期限の近いものを選ぶ
- *期限が過ぎる前に冷凍保存をしておく
- *やさいの皮や だしがらを使って料理をする。



例) 大根の皮→漬物/人参の皮→きんぴら/削り節や昆布→ふりかけ など